

党第四回大会に於ける總同盟幹部の共進に依り醜状の曝露は、遂に一切の希望を水泡に歸せしめ、大衆的忍後を不可能に陥入ルに至る。所謂「大政問題」の解決に當りて党幹部は口を極りて愛党互譲の精神を強調シ小エカ果シテ之の實踐を表明せしむるや如何か？ 全國同盟に對しては、党員人名を処分せしむ、その行動について陳情せしめ、苛酷なる陳謝方法を強制したるに對し、總同盟に對しては何を讓歩せしめたるか？ 此は畢竟總同盟幹部の不当勢力に抑圧せられし結果では有らうか？ 民主主義は根本から回復され、党の階級的精神は總同盟の不当勢力とスリカへり水たひせなむか？

二 党幹部の二三者（現總同盟幹部）が遠敵の総選挙に於いて自ら指導する労働組合の組織を有する二場の重役等より選挙費用を收受するを以て、階級的裏切行為に非ずと公認す。如きは暴断を甚しきものにして、階級政治であり、社会民衆党は此時既に名実共に完全なる自救を遂げたるものと信する。斯くて今、曝露路を小く、否、多數労働者より直接犠牲に供する点に於ては、一層積極なるものと云ふべきである。我等は前項階級的裏切行為、是非を大会に於いて全國選出代表員大衆の討論に付せんとした、然るに党大会に於ては我等の最も排撃せる政友会の「原惣兵工」の誤念に於いてなしたる、故智に倣て一切の質問、討論、動議

を封鎖しと言語を抑圧し、事を曖昧に模糊の中に葬り去つた事は、ここに党最高決議機関として、大会の意義が如何、無産党として、実かあるか？ 政友会、民政党、及動的功利的既成政党の行動より正しきものとなし得るか？

その他、牧野は、選挙の要は満天下の勤勞階級、その解放のみを唯一途として、政友会と信したる社会民衆党の階級性を放棄したる以上、總同盟その他二組合幹部の野望を満たせんとする同盟的集団と化したる今日、最早吾等は、これに止まらざるを得ない。以上

一九二九年十二月廿九日

社会民衆党大政友支部聯合会有志代議員一同

社会民衆党大政友支部聯合会有志代議員一同